

十字園だより

第137号

さつき寮

いちご狩りに行ってきました！



5月、さつき寮行事でいちご狩りに出かけ
てきました。到着するとまず、お皿に盛られ
たいちごを品種ごとに食べ比べます。大き
さも、甘さもそれぞれ特徴がありました。皆
さんどれもおいしそうに召し上がっていま
した。食べ終わると、いよいよお楽しみとい
ちご狩りです。各々がより赤く、美味し
そうだと思います。思ったいちごに手を伸
ばし、丁寧に摘んでいきます。あっとい
う間にパックがいちごでいっぱいになる
ほど、意欲的に取り組まれていました。
最後には冷たいジェラートを召し上がり、
皆さん大満足の表情で帰園しました。



感染症の流行のため、ご利用者の皆さんも
何かと制限の多い生活を過ごされています。
そのような中、少しでも楽しむことができる
機会を作っていけたら、と思います。

(五十嵐)



元気に、はつらつと…

施設長 久根内 恵子

禅語に「柔軟心一にゆうなんしん」といふ言葉があります。固定観念にとらわれず自由な心で、広い視野から物事を考えましようという事です。自分が正しいと思いつい込むこともせず、他者に価値観を押し付けることもせず、無理に相手に合わせることもない柔軟な心という意味だそうです。

れからの十字園の未来を皆さんと描いていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願ひします。



権利を守るということ

課長 平野 智也

今年度、十字園が特に力を入れる項目の一つとして権利擁護を挙げています。すべに思いつく取組みは権利侵害の解消や予防だと思えますが、権利の行使を支援することも忘れてはいけない大切な視点の一つです。

「できない事ばかりに関心がいつていませんか？」
「何かを決める時、ご本人の意見を聞いていますか？」
まずは、私たち自身がご利用者との関りのなかで、その自に問い続けることが取組みの第一歩だと考えています。

人権擁護の取り組みについて

木村 桃子

今年度は、身体拘束に関して重点的に取り組めます。身体拘束を行うにあたっては計画を立て、毎月モニタリングを行います。また拘束時間の軽減を目指す為、軽減計画を作成します。虐待防止委員会においては、身体拘束を行っているご利用者の情報共有をすることで、透明化を図ります。そして、園内研修や虐待早期発見チェックリストを実施し、ご利用者の普段の様子振り返りを行い、職員一人一人が支援を見直し、よりよい支援を提供できるよう、試行錯誤してまいります。



勉強会の様子

このような取り組みを通し、ご利用者の人権を守ることができるよう1年間努めていきます。

食事で皆さんを笑顔に

ご利用者の皆さんは毎日食事をとても楽しみにされています。給食を委託している日清医療食品様と某有名チェーン店とのコラボメニューでは、いつもと違う器やランチョンマットで気分はすっかり外食気分。お店の味を楽しめると好評です。その他にもプレミアムデザートDay(今月は1/6カットの大きなメロンでした)や、Happyスイーツ企画として様々なスイーツを提供し、楽しんで頂いています。これからも食を通して沢山の笑顔を引き出していきたいと思えます。(三岡)

有名チェーン店の味が楽しめるコラボメニュー



更生慈仁会 十字園の今昔

ルーツは、1913年(大正2年)「新潟精神病者慈仁会」と1909年に遡ります。現在の「社会福祉法人 更生慈仁会」に名称変更されたのが、1973年(昭和48年)です。十字園は、1974年(昭和49年)に、定員50名でスタートしました。その後、1988年(昭和63年)には、定員70名に増員となりました。ここまでは、平屋の建物で、玄関の前に大きな池があったり、陶芸室や畑で活動したりしていました。現在の、100名に増員されたのは、2000年(平成12年)です。これに伴い、大規模改修を行い、2階建ての4寮制となりました。この間、家族会の皆様から多大なご協力やご寄付を賜りました。また、親御さんだけでなく兄弟姉妹の会(BSつくし会)も活発に行われていたと記録に残っています。2024年(令和6年)には、創立50周年の区切りとなります。現在、県内には100名を超える入所型の事業所は2つしかありません。ここまでの歴史の重みと、大勢の方の生活を支える使命に誇りをもって、これからの未来に向けてまた進んでまいります。



十字園だより第1号

十字園だより第2号

「日中活動」では、ご利用者一人一人のストレスングスに着目し、作業に拘らず、その方の生活向上につながるような活動を提供できるよう考えております。

「余暇支援」では、昨年なかなか実行できなかった外食の機会を作れるよう計画中です。

コロナウイルスで外出することすら難しい中、どうしても安全に外でご飯を食べられるか対策しながら計画していきます。

「健康管理」「リスクマネジメント」では、コロナウイルス対策を始め、健康面・環境面など様々なことからご利用者を守り、笑顔で過ごせるよう対策していきます。

以上4つの項目を職員一丸となり、ご利用者の笑顔に繋がれるよう取り組んでいきますので、よろしくお願ひいたします。

けやき寮

けやき寮では、健康増進のために、タオル体操を始めました。

職員の声に合わせて、一生懸命な顔ですが、音楽を聴きながら身体を動かす事で、段々と気持ちもリラックス♡

終わった頃には自然と皆さんにスッキリとした顔や笑顔がみられました。

夏の暑さにも体操や運動を頑張るながら乗り切りたいと思います。

(佐藤)

園内活動



タオル体操



余暇支援

けやき寮の今年度の余暇支援の目標は少人数で外出をしていく事です。

昨今の情勢では以前のように大人数で出かけることが難しいです。しかし、少人数であればリスクを軽減しつつ、回数も以前より多くできると考えています。

毎日の支援との兼ね合いもあり難しいことありますが、知恵を出し合い、ご利用者の方々が楽しい思い出を作れるように、行事や外出をしていきたいと思っています。(矢澤)



ひのき寮・けやき寮

主任 遠藤 勇

今年度より男性寮の主任をさせていただいております遠藤と申します。

今年度の男性寮の目標は「皆様の笑顔を多く引き出せるよう、一人一人にあった生活・活動をお手伝いします」です。

昨年度はコロナウイルスのクラスター発生に伴い、ご利用者・ご家族の皆様にご心配をおかけしました。そしてご理解とご協力を頂きありがとうございました。今回のことで、ご利用者に大きなストレスを感じさせてしまったのではと思います、今年度の目標を掲げさせていただきます。

皆様の笑顔を引き出すための取り組みとして「日中活動」「余暇支援」「健康管理」「リスクマネジメント」の4項目に特に力を入れていきたいと考えております。

ひのき寮

園内活動

コロナに負けない



コロナウイルスによって、ひのき寮の中での活動も変わってきました。これはできない、あれは難しい、そう思いながら生活するのは、ストレスが溜まります。

それでも、近くの公園でデザートを食べる、感染対策を取りながら余暇外出に行くなど、全ての活動ができなくなっている訳ではありません。やはり、外へ出ると、利用者様も笑顔が多く見られます。できる事に目を向け、今後も多くの活動をしていこうと思います。(江口)

ひのき寮ファーム



日中活動では、今年もひのき寮ファームを行っていきます！今年もサツマイモを植えて、新しくプチトマトも栽培していきます。

感染症対策で出来ないことも多い中、畑仕事を楽しみにされているご利用者の方もいらっしゃいます。

一生懸命畑を耕して、外に歩行に出る際に水やりをしたりと、少しずつ育っていく植物を見ながら、皆、収穫の時を楽しみにしています。(堀井)



を自身が振り返り、支援に生かしていきます。

④職員ของทีมワークの充実を図ります。

以上4点です。昨年度に比べて、より具体的な内容となりました。環境面、利用者、職員自身、人材育成への視点を挙げました。

いぶき寮、さつき寮の重点目標についても、昨年度と比べてより具体的な内容としました。いぶき寮は重度高齢化に向け介護の知識や技術の向上を図っていきます。さつき寮は、行動障がいのある方への対応に努めるため、専門的な知識、対応方法を学び支援に繋がります。

ご利用者が笑顔で安心して生活していただける環境づくりに、職員とご利用者ご本人も一緒になって取り組んでいきたいと思っております。

お手数を多くお掛けいたしますが、よろしくお願いたします。

さつき寮

日中活動

さつき寮のみなさんは、コロナ後からの元気に日中活動に取り組んでいます。訓練棟に行く人、お部屋でテレビを観る人、お散歩に行く人など思い思いに過ごされています。



午後にはドライブに行ったりしています。昨年度から、ドライブの参加を充実する事を目標にしています。寮に帰って来ると、「公園まで行って来たよ」「楽しかった」と教えてくれます。気分転換にもなっているようですね！（佐藤）

美容カット



さつき寮では、二カ月に一度美容カットを行っています。美容師さんが、かけて下さる音楽に合わせて楽しそうな方、少し緊張気味な方様々いらっしゃいます。でも皆さん、カットが終わると自然と笑顔が見られます。美容師さんへのお礼の言葉も忘れません。皆さん髪もさっぱりし、これから来る夏の暑さ対策も万全です。（渡邊）

いぶき寮・さつき寮

主任 木村 裕介

今年度も一年間よろしくお願いたします。先回の十字園だよりにて掲載がありましたが、2階のフロアが女性寮となりました。いぶき寮・さつき寮が互いにフォローしていきます。またコロナ禍で制限がありますが、感染症対策を充分行い何ができるのか、何を続けられるのか等考え実行していきます。

今年度女性寮の目標は、

①専門性を生かした協同システムを構築し、推進を図っていきます。また日頃から感染症対策を行っていきます。

②ご利用者を理解し、権利を擁護します。そして、職員一人ひとりの多様な意見をご利用者の支援に生かしていきます。

③職員の希望、強み、使命

いぶき寮

園内活動



いよいよ夏本番ですね。いぶき寮では天気の良い日は外歩行をしたりドライブに出掛けたりしています。ご利用者の皆さんは「一緒に外へ散歩にいこう！」と、職員に元気に声をかけて下さります。

また十字園周辺には綺麗な花が沢山咲いていて、歩いていると季節の変化や癒しを感じられます。先日、海沿いの道をドライブしました。音楽をかけるとご利用者は手拍子したり鼻歌を歌ったりととても楽しまれていました。（寺門）



6月9日、「tripsalon Rin」様にお越しいただきご利用者5名のカットを行いました。二階大風呂で素敵な音楽をかけて頂きながらのカットです。カットを行っている最中、素敵



な笑顔が沢山見られました。カットを終えて寮に戻ると「素敵だね」、「さっぱりしたね」と職員に声をかけられ嬉しそうにされているご利用者もいらっしゃいました。曇った日が続きますが心機一転、さわやかな気持ちで日々過ごしていただけたらと思います。（丸山）

